

モリメイト通信

本気で遊ぼう！モリメイト

5月9日(木曜日) 枯れマツの除伐・職員とモリメイト大奮闘

【参加者:池本、浦野、越智宏、梶川、木谷、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中、濱田

11名】



足を載せる部分を残して枝を払いながら上へ



全ての枝を切り終える



チルホールを使って伐倒



幹は玉切りにして処理



落とした枝の処理

陽だまりの丘の外周路の西側の網柵の近くにある枯れマツを除伐した。周りには木が乱立しており、このま

ま倒すと掛り木になる可能性がある

ので枝を切り落としてから伐倒することになった。伐倒の技術を持つ職員さんがこの作業を担って大奮闘。身軽なプロの技に感心しながらしばらくじっと見入っていた。その後、4本の枯れ木をチルホールを使って除伐し、幹や枝の処理を行

いモリメイトも大奮闘！

午後から杉・檜の林の道づくりを行った。

今日から浦野さんがモリメイトに参加

5月16日(木曜日) 境界線巡りとナメタケ・ヒラタケの菌打ち

【参加者:池本、越智宏、小倉、梶川、杉、鈴木哲、鈴木明、中、山本

9名】

新会員の小倉さんも加わり、倒木を片付けたり、笹や茨を切ったりしながら森林公園の境界線を歩いた。笹に覆われて道が分からなくなっているところが多く、同じ道を行ったり来たり、迷いながらの境界線巡りであった。来年のために、分岐点の分かりにくいところには緑色のテープを付けておいた。道なき道に行くワクワクドキドキの1年に1度の探検を来年も楽しみたい。

午後からは二組に分かれて、ナメタケ、ヒラタケの菌打ちと花菖蒲園の手入れを行った。菌打ち作業の方は、まず、原木となる直径15センチほどのハンノキを除伐し、長さ60センチの玉切りにしていった。その後、10本の原木に菌打ちをし、水分を保つためにラップでくるんで、シイタケランドに運んだ。

花菖蒲園の草刈りは、広い所は刈り払機で、花菖蒲の周りは鎌で刈っていった。はびこった雑草をすべて刈ることができず、次回に持ち越すこととなった。



5月23日(木曜日) モリメイトフィールドの草刈り進む

【参加者;越智宏、浦野、梶川、木谷、鈴木哲、鈴木明、山本

計7名】



5月20日から、二十四節気の小満（草木が周囲に茂り始める）に入った。田植えが終わり、水田ではやわらかな緑の早苗が揺れている。植物が精気にあふれるこの季節、雑草もしかりである。雑草には申し訳ないが、花菖蒲とクヌギを守るため、花菖蒲園周辺とクヌギの植樹地周辺の草刈りを行った。



草刈り中に、大水で流されたと思っていたミツガシワが花菖蒲に守られるように生き残っているのを発見した。岡本市長が森林公園にもってきてくれたものである。ミツガシワは、地下茎を横に伸ばして広がり、4～5月に白い花をつける。氷期の生き残り（残存植物）と考えられ、いくつかの自生している水生植物群落は天然記念物に指定されている。貴重なミツガシワである。大切に守っていききたい。



一つだけが花菖蒲の蕾が色づき始めた。見ごろが待ち遠しい！

モリメイト会議

◎本年度のイベントの講師や実施日(予定)などについて。

・くぬぎの森づくり **11月10日**

・落葉で腐葉土を作ってカブトムシを育てよう **12月8日**

・シイタケ菌打ち体験 **2月9日**

◎草刈り、伐倒の際の安全確認について

5月30日(木曜日) 引き続きモリメイトフィールドの草刈り

【参加者;池本、浦野、越智宏、梶川、木谷、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、濱田

計10名】

曇り空のため作業のしやすい1日だった。

クヌギの植樹地や花菖蒲園に分かれ草刈りを行った。植樹地は、木やネットを傷つけてはいけないので、ナイロンカッターの狩り払い機で刈っていった。チップソーの刈り払い機では木の根元を残して刈り、後で鎌で刈るようにした。

花菖蒲に紛れて生えている雑草は、鎌で丁寧に刈っていった。地道な手入れが実って、年々株は大きくなり、今年もたくさんの蕾をつけていた。2つ3つ咲き始めているので、見ごろになるのは来週ぐらいになるだろう。

花菖蒲園の草刈りは午前中で終わることができたので、午後からは、一人生えで育てているクヌギを鹿から守るために網で囲った場所の草刈りを行った。草ぼうぼうの中からクヌギの幼木を探し、その周りを鎌で刈った。

草を刈り、すっきりしたモリメイトフィールド。青葉風に包まれる気持ちのいい場所になってきた。

